

記者発表資料
平成25年10月28日
河川課ダム整備班
担当：星、遠藤
内線：3182

長沼ダムの試験湛水開始について

長沼ダム建設事業は、洪水調節及び流水の正常な機能の維持、レクリエーションを目的とし、昭和46年度に着手し、事業を進めてまいりました。

この度、ダム本体工事等が完成したことから、試験湛水を11月1日から開始することになりましたので、お知らせします。

1 長沼ダム建設事業概要

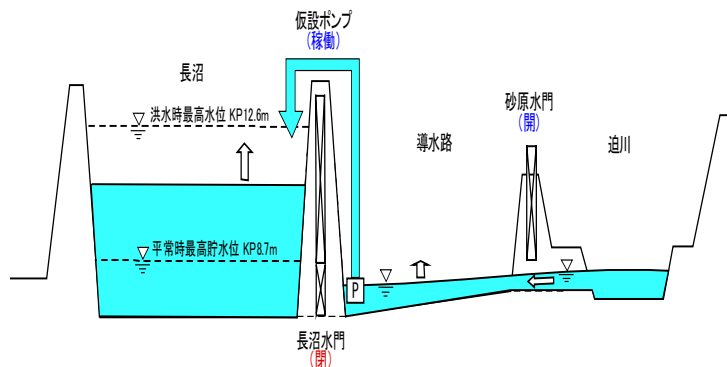
- ・事業箇所：一級河川迫川 登米市迫町北方地先
- ・目的：迫川における洪水防御
既得用水の補給等の流水の正常な機能の維持
レクリエーション（漕艇競技コースの確保）
- ・事業期間：昭和46年度～平成25年度
- ・総事業費：約834.4億円
- ・ダム型式：アースフィルダム
- ・堤高：15.3m
- ・堤頂長：1,050m
- ・総貯水容量：31,800,000m³

2 試験湛水

試験湛水とは、長沼の貯水位を洪水時最高水位（K.P.12.6m）から最低水位（K.P.6.5m）の間で上下させ、ダム本体及び貯水池周辺地山の安全性を確認するものです。

なお、低平地にある長沼ダムにおいては、迫川より導水した流水を仮設ポンプ（17台、計1.7m³/s）で長沼に汲み上げることにより実施します。

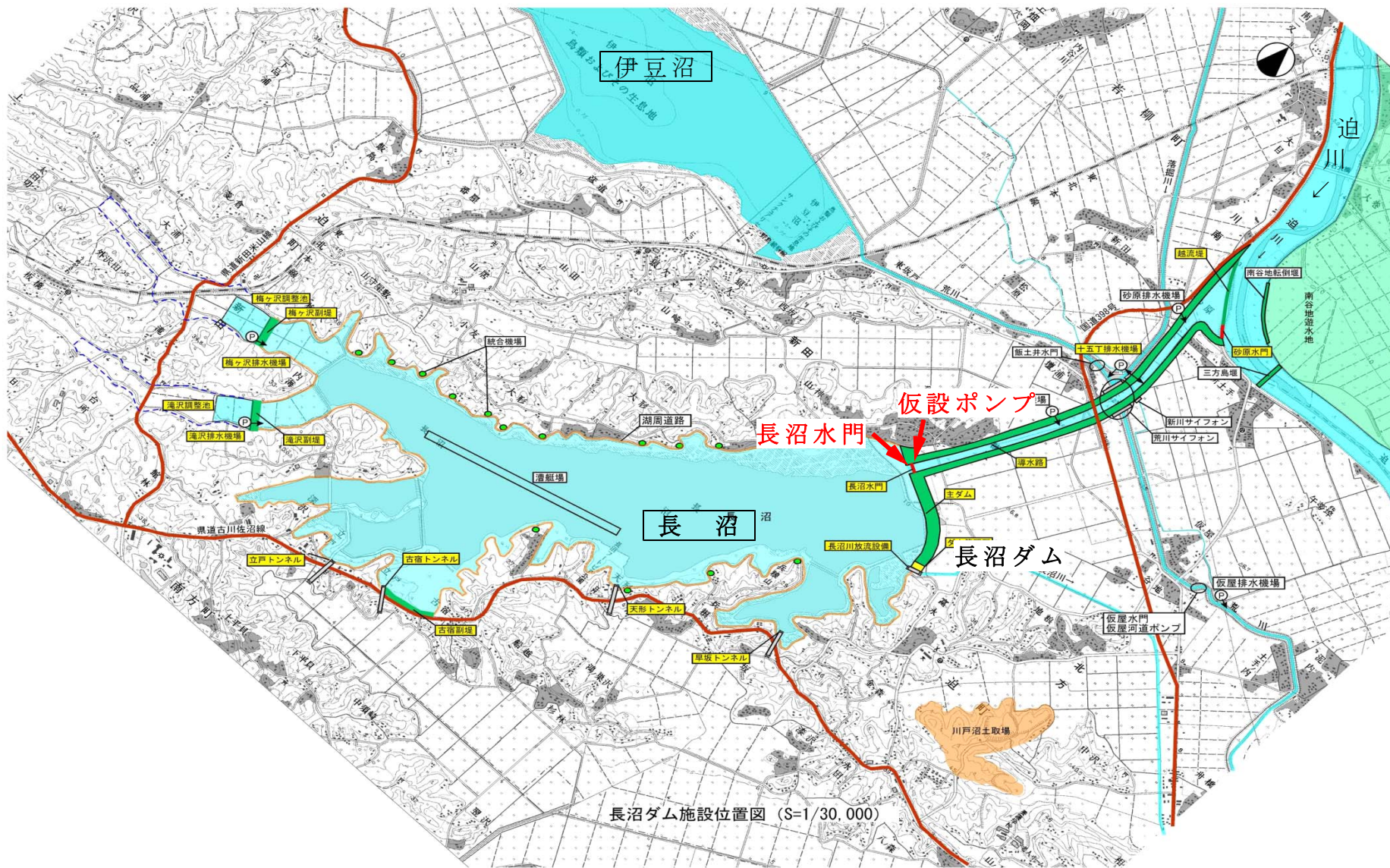
- ・開始日時：平成25年11月1日 午後2時
- ・実施箇所：登米市迫町北方 長沼水門脇広場
- ・実施内容：概要説明，安全確認，長沼水門閉扉，仮設ポンプ稼働



試験湛水模式図



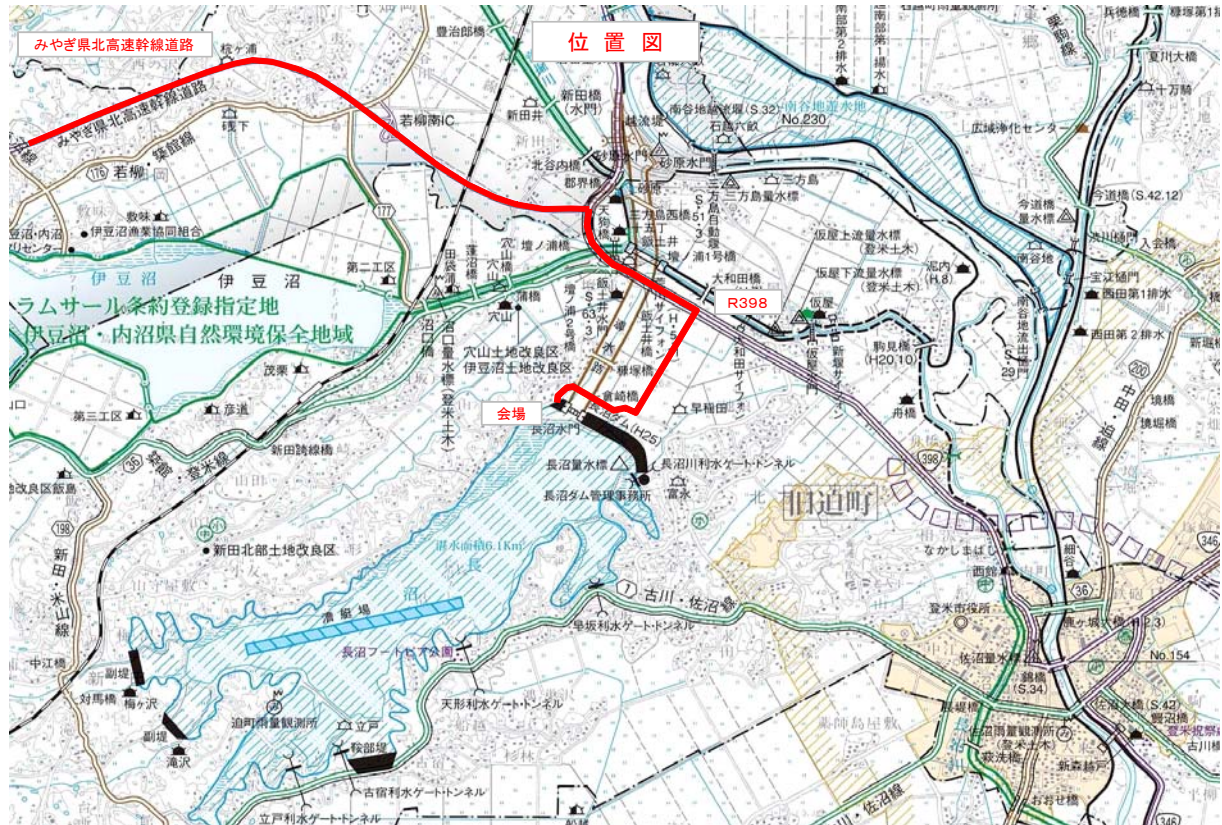
長沼水門（ダム左岸側）



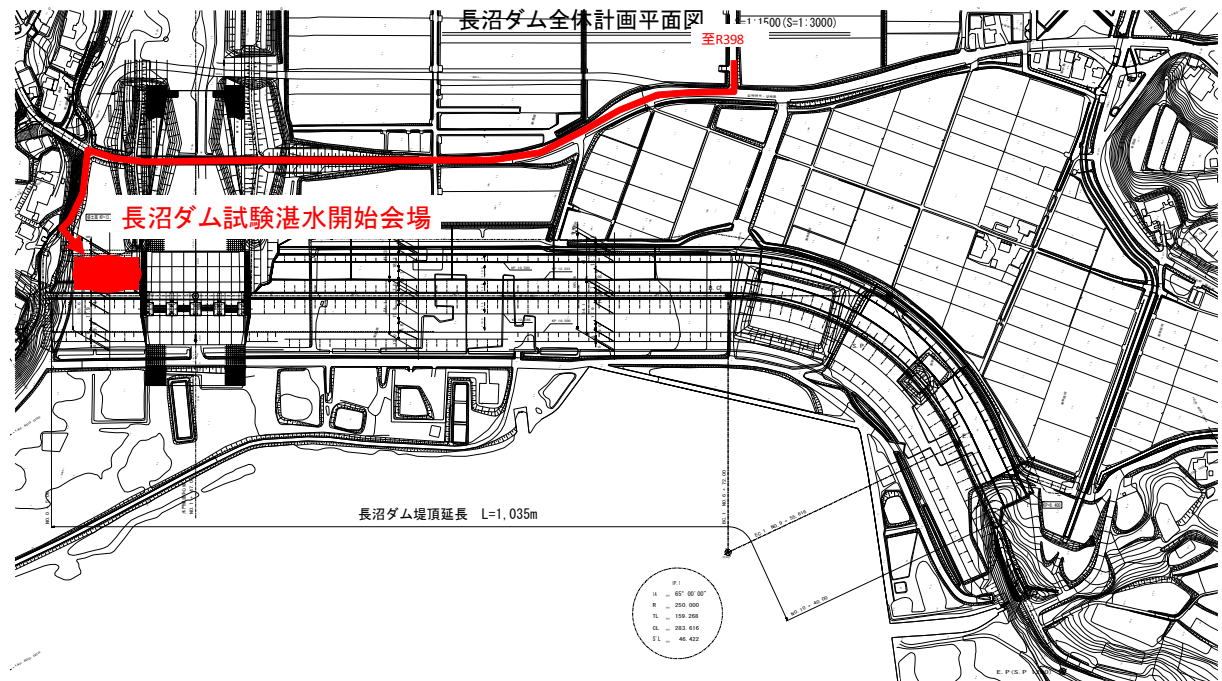
長沼ダム施設位置図 (S=1/30,000)

長沼ダム概要図

※11月1日・試験湛水開始会場



案内図



拡大図

※当日取材をご希望される方は、事前に河川課担当まで連絡をいただければ幸いです。
 ※長沼水門閉扉、仮設ポンプ稼働にあたっては、撮影時間を設ける予定です。